

## 思春期早発症

### 思春期早発症とは：

通常よりも早く思春期が訪れて心身の変化の生じる疾患です

### 思春期早発症の症状：

男児の主症候

- 1) 9 歳未満で精巣、陰茎、陰囊等の明らかな発育が起こる。
- 2) 10 歳未満で陰毛発生をみる。
- 3) 11 歳未満で腋毛、ひげの発生や声変わりをみる。

女児の主症候

- 1) 7 歳 6 ヶ月未満で乳房発育がおこる。
- 2) 8 歳未満で陰毛発生、または小隠唇色素沈着等の外陰部成熟、あるいは腋毛発生がおこる。
- 3) 10 歳 6 ヶ月未満で初経をみる。

### 思春期早発症の検査：

- ・ホルモン検査
- ・超音波検査
- ・MRI
- ・手のレントゲン検査

上記の症状と検査結果を組み合わせることで思春期早発症の最終診断をします。

### 思春期早発症の治療

よくある思春期早発症では、LH-RH アナログという薬を月に 1 回、病院で皮下注射します。身長が伸びることのできる期間を長くして成人になったときの身長が極端に低くならないようにします。さらに思春期の早期進行に伴う本人や家族の心理社会的問題を最小限にします

### 当院での対応：

希望に応じて女性医師・男性医師が対応します。診断基準に基づく診断と治療を行い、検査をすべて行い状態が安定すれば注射が可能な近くの病院やクリニックで継続して治療ができるようにもできます。